

番号	73	大水害復旧記念碑		
所在地	伊万里市松浦町桃川 上原地区			
災害別	昭和42年(1967) 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和44年	
特記事項				

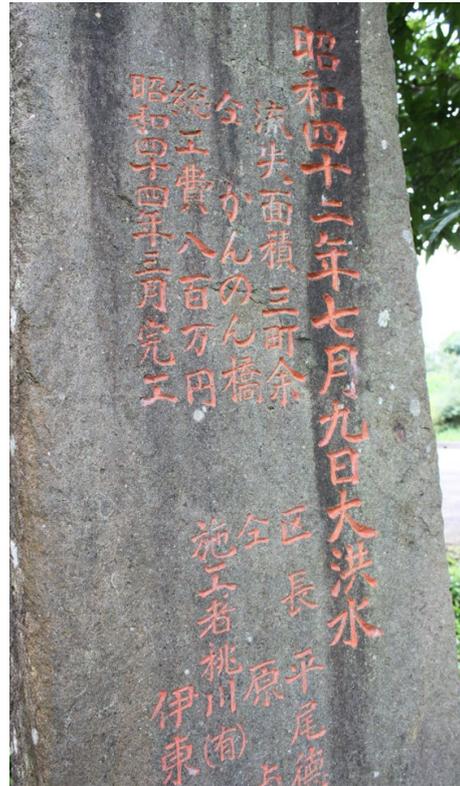


伊万里市松浦町桃川の上原地区にある昭和42年7月9日水害の復旧記念碑。「佐賀県災異誌」によると、昭和42年7月豪雨と名付けられたこの大雨は、県西部を中心に集中豪雨が降り、伊万里地方では伊万里川、有田川の氾濫により、死者5名、家屋の浸水5067戸、水田の流失・埋没985haの被害があった。

ここ松浦川沿いでも大きな被害が生じており、そのことは大川町の土地改良竣工記念碑(別項)にも記されている。また、支流の徳須恵川流域の南波多町古里地区に災害復旧記念碑(別項)が建てられており、同じく南波多町水留^{つづみ}の住吉天満宮の洪水水深記録碑(別項)にはその時の水深が記されている。

なお、近くに「馬ノ頭」と呼ばれる成富兵庫茂安公が建設にかかわったという有名な水利施設がある。

「昭和四十二年七月九日大洪水 流失面積三町余 全かんのん橋 総工費八百万円
昭和四十四年三月完工 区長 平尾徳行 全 原貞次 施工者 桃川(有)伊東辰児」



国土地理院電子国土 Web